

平成19年度第2回鹿児島市地域情報化推進委員会概要

1 開催日時

平成19年11月27日（火）14:00～

2 開催場所

鹿児島市役所みなと大通り別館4階402会議室

3 出席者

- (1) 委員11人（池堂委員、市原委員、宇都委員、久保委員代理、坂元委員、萩野委員長、久永委員、吹留委員、松尾委員、宮之原委員、森副委員長）
- (2) 事務局8人（情報政策課長、情報政策課6人）

4 会次第

- (1) 開会
- (2) 協議
 - ア 第二次鹿児島市地域情報化計画案に関する協議
 - イ 委員意見への対応状況に関する協議
 - ウ その他
- (3) 閉会

5 議事の概要

(2) 第二次鹿児島市地域情報化推進計画案について（ア、イ同時に協議）

事務局	（資料に基づき説明）
委員長	資料2の地域コミュニティについては寂しい気がする。皆様のご意見をお願いしたい。
委員	今回の計画の目玉は何か。力を入れるものが分かりにくい。
事務局	市としては3K（環境・観光・子育て）について力を入れている。これが分かるように表示を改めたい。
委員	計画の中で指標を出しているが、PDCAサイクルを考える上でも数値目標も出すべきではないか。
事務局	現段階では細かいところまで練られたものではないのと、実施計画で金額や数値目標をたてるので、計画の中で数値まで出すことは考えていない。
委員	市民は県民でもあるが、県等との連携はどうなっているか。利用者の視点に立つと、例えば施設利用をする際、市の施設を利用するときは市のHPを、県の施設を利用するときは県のHPを見たりするのは不便である。他の情報にアクセスしやすいように最低限リンクを貼るだけでもいいと思うので善処してほしい。
委員	市と県は連携しているので、大きく食い違うことはないと思う。

委員	航空券やホテルのチケットにはポータルサイトがあるのに行政情報についてはポータルサイトがない。
委員長	ポータルサイトの議論に傾いているが。
事務局	市域にとどまらず県域になると県が主導してポータルサイトを構築すべきと考える
委員長	地域SNSは盛り込めないか。
委員	コミュニティは管理が大変な側面はある。ポータルサイトを考えていった上でその中でSNSを作るといった段階を踏んでいくことも考えられる。
委員	鹿児島市について知りたい人は市HPをまず見るので市HPで鹿児島市の印象が変わる。コミュニティについては、管理者を募集して運営を行わせるという取扱いもあると思う。そうすれば地域情報化で鹿児島はおもしろいことをやっているとなるのではないか。
委員	携帯電話の利用エリア対策については特に触れないのか。
委員長	是非入れましょう。
委員	病院システムの施策が出ているが、実際には市立病院が移転してからになるのではないか。そういうものを入れるより、市民が求めているのは救急体制がどうなっているかという情報を求めているのでその情報提供を考えた方がいい。 セキュリティ対策があるが、これはISO等の取得まで考えているのか。
事務局	今のところISO等の取得は考えていない。
委員	計画のタイトルが「地域情報化」なので、庁内のシステム化はひとまず置いておき、地域の情報化の観点での施策名にすべきではないか。
委員長	再考をお願いします。 今日のまとめだが、指標については計画に載らなくても現在示せるものがあれば次回会議で示していただきたい。今日の意見についての検討結果も次回お願いします。